

日本での交換留学

プリンスオブソクラー大学

ヘムラム アリサ

学籍番号 k2490048

お茶の水女子大学での交換留学も、まもなく1年が経ちます。時間が経つのは本当に早いと感じます。まず、日本への留学の機会をくださったプリンス・オブ・ソクラー大学人文学部日本語専攻とお茶の水女子大学の皆様に、心から感謝しています。この1年で、日本語だけでなく、自分自身の考え方や価値観も大きく成長しました。いろいろな国の人と出会い、文化の違いに触れたことで、物事をより柔軟に受け止められるようになったと思います。



今学期は、もっと挑戦したいと思ったので、中上級の授業を取りました。最初は少し心配でしたが、実際に勉強してみるとうまくできました。先生や友達が優しく、助けてくれたからです。授業では勉強だけでなく、先生がよくアクティビティをさせてくれて、友達と話したり交流したりすることもできました。日本語のおかげで、他の国の友達といろいろな面白い話をするのができ、改めて日本語を勉強してよかったと感じています。

今学期は、教室での学びだけでなく、旅行を通じて教室外でも多くのことを学びました。特に家族と日本を旅行した経験は印象深く、日本語を使って現地の方と会話したり、通訳したりできたことが自信につながりました。そのおかげで、旅行がより意味のあるものとなり、家族も日本語の大切さを実感してくれました。この経験を通して、日本語を学んできて本当によかったと改めて感じ、家族も私の学びを誇りに思ってくれています。それが励みとなり、これからもっと日本語を上達させたいという気持ちが強くなりました。



今回の交換留学では、本当にたくさんの方々にお世話になりました。指導教官の阿部先生には毎月の振り返りシートをご確認いただき、市原先生と櫻井先生には楽しい活動や役立つ情報を教えていただき、誠にありがとうございました。国際課の皆さんには、文化授業などさまざまな企画をしていただき、音羽館の管理室の方々には生活のサポートをいただきました。そして、勉強や日常生活で助けてくれた春子さんにも、心から感謝しています。皆さんのおかげで、お茶の水女子大学での留学生活は、とても貴重で忘れられない経験になりました。誠にありがとうございました。